

『二輪車通学許可校』 活動紹介

学校名：埼玉県立小鹿野高等学校

所在地：埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野 962-1

「平成18・19年度文部科学省 交通安全教育実践地域事業指定校」

埼玉県西北部の山間地域に所在し、鉄道の最寄り駅からバスで45分のところに位置する小鹿野高等学校では通学上、バスの運行範囲やダイヤに不便性があるため一定の基準を満たした生徒にバイク通学を許可しています。急カーブや急勾配、凍結箇所が多い道をバイク等で通学する生徒の軽傷事故が毎年数件発生するため、学校では交通安全に対する意識や態度、知識・技術を育てるさまざまな取組を行っています。

また昨年度は、「二輪車通学許可校の担当教員研修会 埼玉会場」の会場校として本校の全教職員が参加し、交通安全指導力を高めることができました。交通安全指導はあらゆる教育活動において行われるべきものであると再確認する良い機会となりました。

今回はその熱心な教育活動をご紹介します。

平成19年度交通関係の年間指導計画（主として二輪車を掲載）

月	バイク	対象	担当	その他	対象	担当	備考
4月	年度当初本校交通安全指導方針についてバイク販売店へお願いの通知	地域バイク販売修理店	交通係	始業式 交通安全について説明	全生徒	主任	自転車、バイク置き場の割り当てと生徒通知 自転車、バイク通学許可生徒名簿作成 新規バイク通学許可生徒のバイク点検 販売店へバイク点検協力のお願
	バイク点検	2、3年全バイク通学者	業者・指導部全員				
	バイク通学者全体集会	2、3年全バイク通学者	指導部全員				
5月	交通安全実技講習会	未受講の生徒と再度受講 する必要がある生徒	警察・管理職・指導部 全員	交通安全教室	全生徒	警察・管 理職・指 導部全員	
	事故防止キャンペーン	昨年度不参加生徒全員＋ 希望者	警察・管理職・指導部 全員				
6月				保護者面談 交通安全般を説明資料配付	保護者	担任	
7月	バイク通学許可説明会	バイク通学希望者とその保 護者	管理職・指導部全員	保護者懇談会 交通安全般について説明資料 配付	保護者	全職員	
	高等学校二輪車マナーアップ講習会	2年バイク通学者全員と3 年の一部	交通係	終業式 交通安全般について説明	全生徒	主任	
9月	交通安全実技講習会	未受講の生徒と再度受講 する必要がある生徒	警察・管理職・指導部 全員	始業式 交通安全般について説明	全生徒	主任	新規バイク通学許可生徒のバイク点検
	二輪車通学許可校等の担当教員研修会	全職員	主任・交通係				
12月	交通安全講習会	3年全バイク通学者	警察・指導部全員	終業式 交通安全般について説明	全生徒	主任	
	バイク通学許可説明会	バイク通学希望者とその保 護者	管理職・指導部全員				
1月	交通安全スローガン	3年全バイク通学者	担任	始業式 交通安全般について説明	全生徒	主任	新規バイク通学許可生徒の即バイク点検
3月	バイク通学許可説明会	バイク通学希望者とその保 護者	管理職・指導部全員	終業式 交通安全般について説明	全生徒	主任	
	通学路清掃活動			入学説明会 交通に関して説明及び資料 配付	全生徒	主任	
通年 指導	登校指導・・・バイク・自転車点検、免許証の確認、許可証の確認など 自動車学校・・・卒業証明書の保管と記録 免許証管理		職員によるバイク・自転車点検・・・必要に応じて適宜行う				

バイク点検の実施

職員による月1回のバイク点検とは別に、4月には地域のバイク販売店に依頼しタイヤやブレーキ等の点検を実施。



〈バイク点検〉

事故防止キャンペーン

「手作りちらし」の配布

地元警察署や交通安全協会と連携して生徒会を中心に交通安全を呼びかける手作りちらしを作成し、ドライバーに配布。生徒にとって交通安全意識の醸成に良い動機付けとなる。新聞・テレビの取材もあり。



〈配布活動〉

交通安全実技講習会

小鹿野警察署との協力で毎年実施

本年度新たに、「ダンブ協会の指導協力」や「地域中学生の参加」が加わり地域の連携がさらに広がる

主催：小鹿野高等学校
 協力：小鹿野警察署・秩父郡市ダンブ協会
 生徒：バイク通学許可生徒10名

時間	項目	内容
15:30～15:40	開会	挨拶・説明
15:40～16:40	実技講習	<input type="checkbox"/> 準備体操・コース説明 <input type="checkbox"/> 全体講習 装備・乗車・降車・運転姿勢 <input type="checkbox"/> 班別講習 ・パイロンスラローム・8の字走行 ・一本橋走行・制動
16:40～16:50	閉会	謝辞・講評

〈実技講習〉



〈死角演習〉



二輪車通学許可校支援研修会

主催：（財）日本交通安全教育普及協会
 後援：埼玉県教育委員会
 協力：小鹿野高等学校
 生徒：バイク通学許可生徒15名
 教師：県内6校（38名）

時間	項目	内容
13:00～13:30	開会	挨拶・説明・コース移動
13:30～15:30	生徒 実技講習	<input type="checkbox"/> 運転の基本 体操・安全点検・服装・運転姿勢慣熟走行・ 基本走行 <input type="checkbox"/> 事故再現 速度読取り・衝突実験 <input type="checkbox"/> 班別講習 ブレーキング・コーナリング・低速バランス
15:45～16:45	教師 研究協議	二輪車実技指導の在り方について
16:45～16:55	閉会	



〈ブレーキング〉



〈コーナリング〉

生徒の声

- ・この講習会では安全点検の大切さがわかりました。これからは登校前にきちんと点検したいと思います。また、運転姿勢で“がに股運転”がいかに危険なのか知って驚きました。
- ・車とダンボールの衝突実験で、もしダンボールが自分だとしたらゾッとしました。あのような事故が起きないように一時停止や左右の安全確認をしっかりとしようと思いました。今回の講習を受けてバイクに乗る時は運転に集中して真剣に乗りたいと思う。
- ・基本から応用運転まで色々教わり、今まで知らなかった知識がたくさん学習できてためになりました。
- ・初めはうまくできなかったが終わる頃は安全な走行ができるようになった。短時間だったが内容の濃い講習でした。これからも安全な運転を心掛けたいと思います。

教師の声

- ・生徒達が真剣に実技に取り組んでいる姿がとても良かった。実技指導は非常に効果的だと思う。
- ・正しい運転姿勢の大切さを理解できた。低速バランスは校内でも指導できると思いました。
- ・生徒を指導する上で大変参考になった。特に衝突実験はインパクトがあって良かった。
- ・実際に生徒の技術指導を見る機会がなかなかないので視察できて良かったです。協議についてはあらためて安全教育の大切さを再認識しました。